

## 生涯学習における「わたしとみんなの しょうがい学習ケイカク」の可能性

2022.2.5

ともに学び、生きる 共生社会ブロックコンファレンス in 北海道

第4分科会 生涯にわたる学びのケイカクを考える

みらいつくり研究所 所長／医療法人稲生会 理事長 土畠智幸

brotom1977@gmail.com

### 本人のニーズを踏まえた、学びに関する相談支援体制づくり

H31.3 障害者の生涯学習の推進方策について 第3章 障害者の生涯学習を推進するための方策 4. 障害者の学びを推進するための基盤の整備

- 特別支援教育を受けている児童生徒については、在学中は学校において**個別の教育支援計画**が作成される。卒業後も生涯にわたる学習支援がなされるように、個人情報保護の観点に留置しつつ、**個別の教育支援計画**を進路先の企業や福祉施設等へ適切に引継ぎ、活用していくことも重要である。
- 平成30年度の障害福祉サービス等報酬改定にあわせ、障害児相談支援については（中略）**教育機関等の職員と面談**等を行い、必要な情報提供を受け協議等を行った上で**サービス等利用計画**等を作成した場合に、加算が行われることとなった。このことも契機として、**在学中から**教員が福祉の相談支援に携わる職員との連携を強化し、**サービス等利用計画**作成などの障害福祉サービスの利用の流れについて、教員や本人・保護者等の理解を深めていくことなども期待される。

## 2つのカリキュラム観の比較

Macfarlane (1978) による成人識字教育に関する分析


	伝統的カリキュラム観	学習者中心カリキュラム観
プロセスにおける学習者の役割	外部から定式化されたことや外的ニーズの受動的な受け手	自ら最終目標を設定していく能動的な参加者
識字獲得のプロセス	技能や進歩の段階に応じた階層的なもの	全体的で、課題中心的なもの
学習者についての成人教育テューターの見識	収奪され、ハンディキャップをもつ（それゆえに劣位の）存在	失敗を非難されることのない対等な存在
学習者の自己イメージに与える影響力	相対的に重要度が低い。技能の進歩という副産物がある	意図的に自己イメージが高められる
成人教育テューターに対する学習者の見方	「自分を矯正してくれる専門家」	「自分が問題を解決するのを助けてくれる友人」
危険性	依存性が強くなる。技能を実生活に転移することによりかなり懐疑的である	学習者や学習体系などの概念が崩れ、進歩の判断基準が不明瞭になる

ピーター・ジャーヴィス著、渡邊洋子／犬塚典子監訳. 成人教育・生涯学習ハンドブック. 明石書店, 2020, p.337表



## わたしとみんなの しょうがい学習ケイカク

- 2021年10月～ 試行
- 対象者（協力者）：みらいつくり哲学学校のレギュラー参加者のうち5名
- 形式：Googleドキュメント
- 記載内容：①わたしのこと（普段の自分、仕事、通ってきた学校など）、②みらいつくり大学で定期的に参加している講座と参加開始時期、③わたしの生涯学習の歴史、④いまの興味関心、⑤いま気になるキーワード
- 活用方法：1人1ドキュメント、本人（わたし）がケイカクを記載、追記していく。他者（みんな）がコメントに入力、それに対して本人や他のみんなが返信していく。ドキュメントにコメント・返信が追加されたときはGメールに転送される。


  
**「みらいつくり」大学校**
  
FUTURE CREATING UNIVERSITY

**わたしとみんなの生涯学習ケイカク**

わたし：土島智幸

ケイカク開始日：2021年10月24日

わたしとみんなの生涯学習ケイカク（みんなはコメントに追加をお願いします）

わたしのこと（首段の自分、仕事、通ってきた学校など自由に書く）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法人稲生会：理事長として運営・経営。臨床医としてときどき訪問診療</li> <li>・北海道教育委員会／札幌市教育委員会 医療的ケア指導医；北海道立の特別支援学校、札幌市立の特別支援学校および地域の小中学校を巡回指導</li> <li>・みらいつくり研究所長：みらいつくり大学校のオンライン生涯学習活動の企画運営</li> <li>・北海道科学大学客員教授：2020年度～ 理学療法学科・診療放射線学科合同の「生命倫理学」を担当</li> </ul>						
みらいつくり大学校で定期的に参加している講座と参加開始時期						
<input type="checkbox"/> 哲学学校（運営担当） <input type="checkbox"/> お手話べり（運営担当） <input type="checkbox"/> アイヌ語講座（運営担当） <input type="checkbox"/> 読書会 <input type="checkbox"/> 映画同好会 <input type="checkbox"/> THIS IS US同好会（運営担当） <input type="checkbox"/> 宗教学講座						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>歴史</th> <th>日付／年度</th> <th>わたしの生涯学習の歴史</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1997-2002</td> <td>北海道大学 医学部</td> </tr> </tbody> </table>	歴史	日付／年度	わたしの生涯学習の歴史		1997-2002	北海道大学 医学部
歴史	日付／年度	わたしの生涯学習の歴史				
	1997-2002	北海道大学 医学部				

**和** 和田敦 11:27 11月1日 ✓

医学・医療に特化した学問ですか？興味深いです。

**T** Tomoyuki Dobata 14:05 11月1日

「生命倫理」は、安楽死・尊厳死とか、人工妊娠中絶とか、生殖医療とか、「生命」に関わる「倫理」（どのようにすべきか）を考える科目で、医療系の学部では必須科目になっていることが多いです。他に「医療倫理」というのが別の科目になっていることもあって、そちらは治療とかに関係する内容とか、医療者－患者関係とかに関する内容が多いですね。

		人新世の「資本論」（斎藤幸平）を読む
		「資本論」（大月書店）「マルクス資本論」「マルクスとエコロジー」（佐々木隆治）「大洪水の前に」（斎藤幸平）を読む予定
		「資本論を読む」に参加
<b>キーワード</b>	<b>日付け</b>	<b>わたしがいま気になるキーワード</b>
	2021.10.29.	〈コモン〉と〈コミュニズム〉・「集団移転」
		〈アソシエーション〉・「小泉」・「シン・エヴァ第三村」
		マルクスとエコロジー・「物質代謝」

ここ、悩んでいます…。『存在と時間』の続きとしての『現象学の根本問題』（木田元訳）をやってもいいのかも…。『存在と時間』は「ただいまハイデガー」でもやっているの。

**和** 和田敦 14:40 11月24日

私、木田元さんの（俄か）ファンです？！？ので木田元さんが『存在と時間』の構築で未刊部（本編）を見通していったってこと、気にしていました。『現象学の根本問題』は、知識ゼロですけど『存在と時間』の続きってフレーズには、反応してしまいます。「岩波」で別の景色が見られるかも？！って期待もありますが、

**T** Tomoyuki Dobata 12:19 11月24日 ✓

これ、いつか詳しく聞きたいです

**和** 和田敦 14:40 11月24日

哲学学校していると、「集団移転」に「マルクス（資本主義）」が絡んで、今度は「古代ギリシア」の「ヘレニズム（グローバリ化）」が絡んで来て、面白くてしょへがない！！です。

4 通の返信をすべて表示します。

**和** 和田敦 8:35 11月25日

「人生の授業」入手してしまっただ。古代ギリシア・ローマ時代の奴隷の概念が変わりました。1960年の映画『スリレタカス』観なおしたら面白かったです。（けど休憩アリの3時間、）

Alt+/

興味関心	日付け	わたしのいまの興味がある分野
	2020.6~	スマートホーム化計画（一通りできた）
	2020.6~ 2021. 2	料理・お菓子作り（一通り作って飽きた）
	2021. 1	3Dプリンター買った
	2021.3~	化粧の仕方を模索（介助者への指示の難しさ・自分の思い通りにならないレベルの高さ・介助者の手技によるクオリティの差・自分も理想とする方向性が分からず停滞中。純粋に時間もなく面倒くさいこともある）
	22.1	小さくて使いやすいマウス探し、ゲーム、アニメ、漫画、イラスト、ドラマ
キーワード	日付け	わたしがいま気になるキーワード
	2022.1.12	マイクロアグレッション
		障害、多様性、共生社会、アライ、生産性
		自己肯定、自己肯定感
		支援、支援者と当事者の関係性

**Tomoyuki Dobata**  
8:48 1月18日

1日3食ずっとやってたら確かに飽きるかもね（笑）「又ニュー考えるのめんどくさいからヘルパーさん考えて下さい」とかは無しなの？

**Ami**  
14:19 1月18日

ありだしそうしている人もいるみたいですが、介助者が冷蔵庫の中身の把握するところから始まり、また新たなコミュニケーションの手間（このいい方は語弊もありますが）が増えるのが面倒で、やってないです。私の冷蔵庫は、決まったメンバーしかいなくて、何かを作ってもらうのは難しいかもしれません（笑）常備している作り置き冷凍か、冷凍食品か、魚焼くかの選択肢から選ぶことで落ち着きました。  
一柳を表示

**Tomoyuki Dobata**

ニューを検索 (Alt+/)

ケイカク開始日：2021 年 10月 20日

わたしとみんなの生涯学習ケイカク（みんなはコメントに追加をお願いします）

わたしのこと（普段の自分、仕事、通ってきた学校など自由に書く）

30代!

みらいづくり大学校で定期的に参加している講座と参加開始時期

哲学学校 2020年10月

歴史	日付け	わたしの生涯学習の歴史
	2009	修士課程修了
	2009-2015	おもに倫理、論理への関心から哲学に関心を持つ
	2015-	哲学カフェ、死生学カフェ、哲学カフェ@富士 参加、世話人になり、対話的探究について学びはじめる。
	2016-	静岡大学竹之内研究室ゼミに出席しはじめる
	2016.4.16-	友人との輪談会開始

**Tomoyuki Dobata**  
15:42 1月29日

密かに追加されてた！めっちゃウケました(笑) それにしても、哲学学校始めて以来の衝撃だったな...

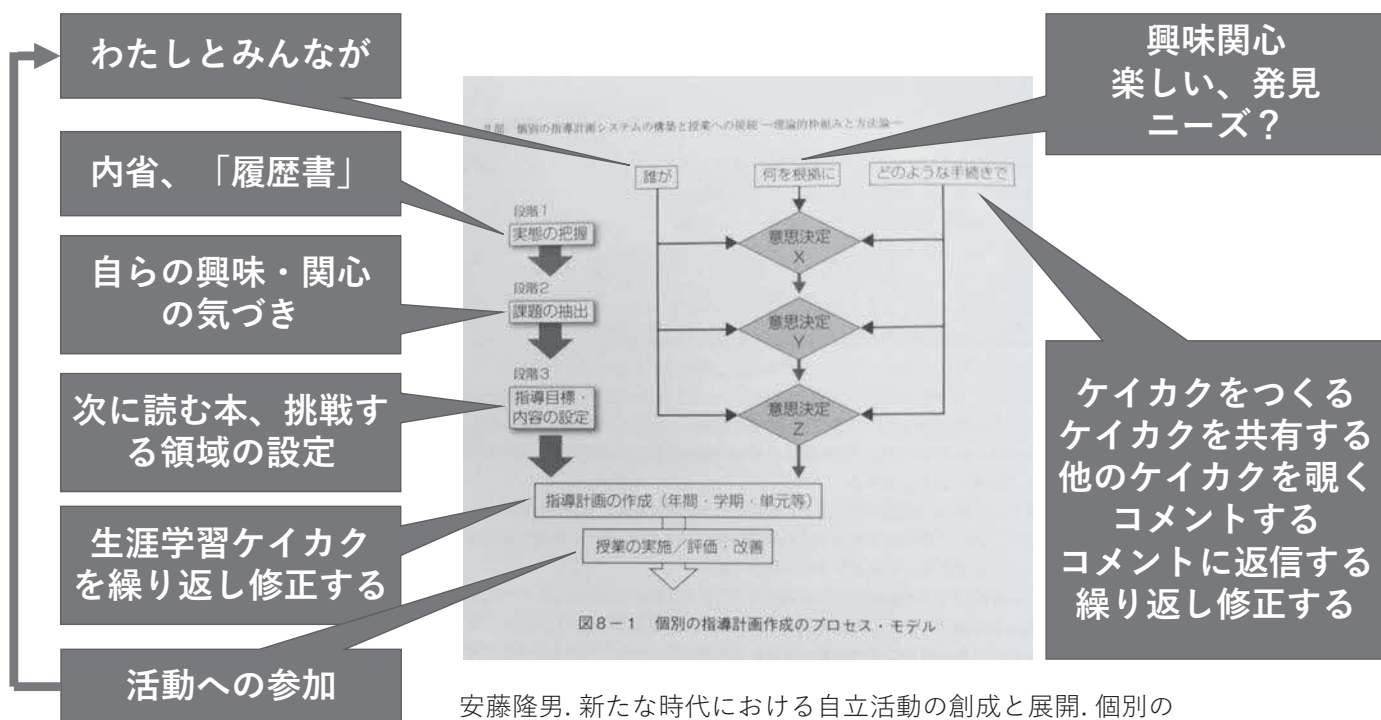
# 参加者の感想

## 【良い点】

- 他の人の興味関心を知ることができて面白かった
- 他の人からのコメントがつくと嬉しかった
- 人のケイカクを覗くのが面白い
- 「プライベートな学習」を共有。「見られるプレッシャー」を楽しむ
- 自分の内省のためのツールになった。「学びの履歴書」という感じ
- 「新たなSNS」という感じ
- 独学では難しいことも他の人と一緒に学べるという感覚がある
- ケイカクによって思いもしなかった学びに取り組むことになるなど、計画外のことがたくさん起きた

## 【課題と展望】

- 計画をつくるのが強制されるとよくないと思う
- 知らない人のケイカクをどう見るようになるのか興味がある
- 重症心身障害者など言葉を用いることが難しい人はどうするか



ともに学び、生きる 共生社会ブロックコンアレンス in 北海道 2021

全体テーマ：「障害のあるひと ないひと みんなでひろげよう 北海道の社会教育  
第2部 第4分科会 生涯にわたる学びのケイカクを考える

## 『福祉における個別の支援計画』

令和4年2月5日(土) 13:00-15:00

相談室 あんど 管理者  
作業療法士・社会福祉士  
伊西 夏恵

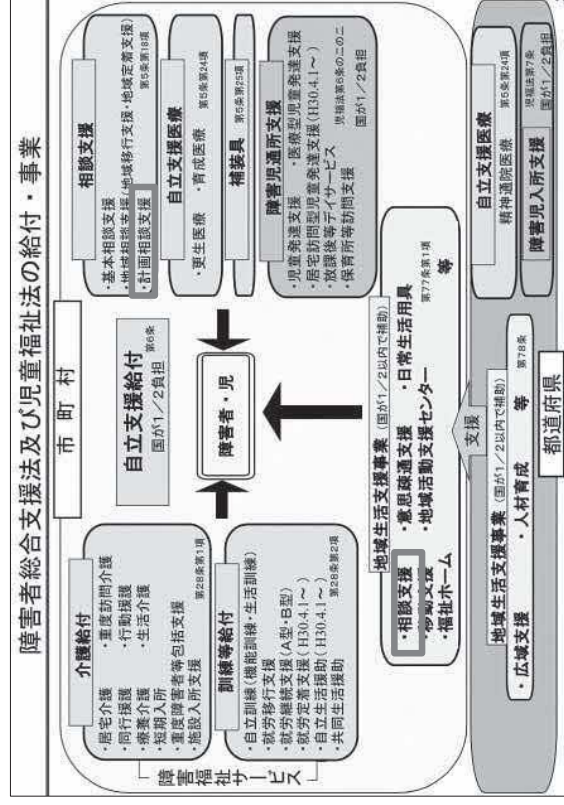


## 話題 1.

- 1.福祉の計画  
障害福祉サービスにおけるサービス等利用計画について
- 2.医療の計画：  
リハビリテーション実施計画について
- 3.教育・医療・福祉の計画 比較と概観

## 本日の話題

- 1.福祉の計画  
障害福祉サービスにおけるサービス等利用計画について
- 2.医療の計画：  
リハビリテーション実施計画について
- 3.教育・医療・福祉の計画 比較と概観



障害福祉に  
関する制度  
沿革・概要  
参考資料 3  
厚生労働省

# 福祉のケイカク サービス等利用計画(案)

サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案（計画様式1-1）

利用者の氏名	利用者の生年月日	利用者の性別	利用者の住所
利用者の住所	利用者の電話番号	利用者の職業	利用者の学歴
利用者の障害の種類	利用者の障害の程度	利用者の障害の発症時期	利用者の障害の経過
利用者の利用目的	利用者の利用の開始時期	利用者の利用の終了時期	利用者の利用の継続性
利用者の利用の開始時期	利用者の利用の終了時期	利用者の利用の継続性	利用者の利用の継続性

①利用者の状況  
 本人の状況  
 本人の家族  
 本人の生活環境

②利用者の利用目的  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

③利用者の利用の開始時期  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

④利用者の利用の終了時期  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

⑤利用者の利用の継続性  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

⑥利用者の利用の継続性  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

⑦利用者の利用の継続性  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

⑧利用者の利用の継続性  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

⑨利用者の利用の継続性  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

⑩利用者の利用の継続性  
 本人の生活環境  
 本人の生活環境

①利用者及びその家族の生活に対する意向

②総合的な援助の方針  
 ・長期目標  
 ・短期目標

※札幌市が用意する様式有。  
 札幌市HPからダウンロードできる。

※この様式を使用しなくても可。

※本人と家族の意向を聞いた上で相談室が作成。内容説明後に同意署名をもらい役所への提出が必要。

## 話題 2.

- 1.福祉の計画  
障害福祉サービスにおけるサービス等利用計画について
- 2.医療の計画：  
リハビリテーション実施計画について
- 3.教育・医療・福祉の計画 比較と概観

# 医療のケイカク 外来リハビリテーション実施計画書

外来リハビリテーション実施計画書

利用者の氏名	利用者の生年月日	利用者の性別	利用者の住所
利用者の住所	利用者の電話番号	利用者の職業	利用者の学歴
利用者の障害の種類	利用者の障害の程度	利用者の障害の発症時期	利用者の障害の経過
利用者の利用目的	利用者の利用の開始時期	利用者の利用の終了時期	利用者の利用の継続性
利用者の利用の開始時期	利用者の利用の終了時期	利用者の利用の継続性	利用者の利用の継続性

①家族・本人の要望

②心身機能・構造（睡眠リズム、視覚機能、変形・拘縮、筋、呼吸機能面、疼痛の有無など）

③活動（認知機能、コミュニケーション、姿勢の変化・保持、移動、セルフケアなど）

④参加（学校、遊び、余暇活動など）

⑤環境因子（家族構成、家族、友人、学校関係者、医療・福祉サービスと関係者、福祉用具など）

⑥リハビリテーション目標

⑦リハビリテーションプログラム

⑧前回計画書作成時からの変化・改善等

※「本人と家族への説明」の後、「ご本人（家族）サイン」説明者サインが署名する。  
 ※作成の必要有。提出の必要なし。

## 話題 3.

- 1.福祉の計画  
障害福祉サービスにおけるサービス等利用計画について
- 2.医療の計画：  
リハビリテーション実施計画について
- 3.教育・医療・福祉の計画 比較と概観

## 教育・医療・福祉の計画 比較

分野	計画	バックグラウンド	モデル	記載項目
教育	個別の教育支援計画			※本日の他発表を参照
医療	リハビリテーション実施計画書	作業療法士	医学モデル 社会モデル	①家族・本人の要望 ②心機能・構造 ③活動 ④参加 ⑤環境因子 ⑥リハビリテーション目標 ⑦リハビリテーションプログラム ⑧前回計画書作成時からの変化・改善等
福祉	サービス等利用計画	社会福祉士	社会モデル	①利用者及びその家族の生活に対する意向 ②総合的な援助の方針

## 教育・医療・福祉の計画 横断的な概観

分野	計画	作成のポイント (発表者主観)
教育	個別の教育支援計画	※他の発表者の意見をお聞きたい
医療	リハビリテーション実施計画書	・記載する際、 <b>主語に私(セラピスト)と本人(患者)</b> が混在してしまう。 ・近年、 <b>ICF・社会モデル</b> の考え方がとられるようになり、 <b>パターナリズム</b> に陥らぬよう、使役(～させる等)の表現を避けるようになった。 ・ <b>デマンドとニーズの不一致</b> に時折悩み、本人のための計画を作成するかセラピストのための計画を作成するかで葛藤することがある。
福祉	サービス等利用計画	・計画に記載された文章の主語は、あくまでも本人(よって作成者は本人)になりすまして記載する)。 <b>エンパワメント</b> の視点。 ・ <b>自己決定を尊重</b> し、 <b>デマンド</b> が <b>ほぼニーズ</b> になる。 ・サービス等利用計画(案)の提出で、障害福祉サービスの支給が決定する。つまり、計画作成と行政への提出が、サービス受給における義務。



# 大学と特別支援学校における「学びの計画」の比較

ともに学び、生きる 共生社会ブロックコンファレンス in 北海道

第2部 第4分科会 生涯にわたる学びのケイカクを考える

藤女子大学 子ども教育学科 今野邦彦

## 大学と特別支援学校の比較

### ・特別支援学校は何をすところか

学校教育法第72条 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。以下同じ。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

学校教育法第50条 高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。

### ・大学は何をすところか

学校教育法第83条 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。

## 高校までと大学の違い

新入生ガイダンス資料より

	高校（まで）	大学
主な目的	普通教育	専門研究
教育機関	中等教育	高等教育
学ぶ人	生徒	学生
教員	免許が必要	免許は不要
教える内容	統一されている	統一されていない
問題の答	決まっている	決まっていない

たとえば、障害、障がい、障碍、しょうがい...

## 高校までと大学との違い

新入生ガイダンス資料より

- 小・中・高では、学びの「量（あるいは詳しさ）」が増えてきましたが、高校と大学とでは「質」が変わります。
- 大学は研究をするところです。
- 高校まで積み上げてきた知識や技術を使って、またそれをさらに発展させて、新しいことを考え、新しいものを作り出すところが大学です。
- 研究をするのは、大学の先生や大学院生だけではありません。
- 大学生は受け身ではなく、自ら進んで学び、考え、研究し、自分なりの答を探す存在です。
- だから、卒業研究（卒業論文や卒業制作）があるのです。
- さあ、みなさんも大学生として一步を踏み出しましょう！

## 学習から学修へ

- 大学では「学修」「履修」「修得」という言葉をよく使います。

- **学習**

[礼記(月令)・史記(秦始皇本紀)]

①まなびならうこと。

②経験によって新しい知識・技能・態度・行動傾向・認知様式などを習得すること、およびそのための活動。

- **学修**

(主として明治期に用いた語) 学問をまなびおさめること。

[広辞苑]

## 大学の3ポリシー

学校教育法施行規則(2017)

- **ディプロマ・ポリシー** (学位授与の方針)

各大学, 学部・学科等の教育理念に基づき, どのような力を身に付けた者に卒業を認定し, 学位を授与するのかを定める基本的な方針であり, 学生の学修成果の目標ともなるもの。

- **カリキュラム・ポリシー** (教育課程の編成・実施方針)

ディプロマ・ポリシーの達成のために, どのような教育課程を編成し, どのような教育内容・方法を実施し, 学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

- **アドミッション・ポリシー** (入学者受け入れの方針)

各大学, 学部・学科等の教育理念, ディプロマ・ポリシー, カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ, どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり, 受け入れる学生に求める学習成果 (「学力の3要素」についてどのような成果を求めるか) を示すもの。

## 子ども教育学科 ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学科の教育目標を達成するため、ディプロマ・ポリシーを次の通り定める。

1. 乳幼児期から青年期までの子どもの成長・発達を支援し、子どもや子どもを取り巻く人びとの生活の質の向上に寄与するための専門的知識を修得する。……………(知識・理解)
2. 社会が抱える複雑な問題を包括的な視点で分析し、保育・教育場面で生じる課題に対処できる論理的思考力と問題解決へと導く能力を身につけることができる。……………(汎用的技能)
3. 保育・教育を通して社会的責任を果たしていくことのできる態度・倫理観と、生涯にわたり主体的に学びを深める態度を身につけることができる。……………(態度・志向性)
4. 地域社会とかかわるさまざまな社会経験を通し、広い教養の涵養と子どもにかかわる多様な問題に対処できる幅広い視野と創造的思考力を身につけることができる。  
……………(総合的な学習経験と創造的思考力)

## 子ども教育学科カリキュラム・ポリシー

本学科の教育目的に基づきディプロマ・ポリシーを実現させるために、次の通りカリキュラム・ポリシーを定め、教育課程の編成をカリキュラム・マップによって示す。

### 1. (カリキュラムの体系性および順次性)

- ・本学科のカリキュラムは、専門に関する学びを得るために、子どもの教育という視点からアプローチする「子ども教育専修」、子どもの生活支援という視点からアプローチする「子ども生活支援専修」、各種実習や専門領域の研究法などを学ぶ「共通」の各科目群で構成し、子どもとそれを取り巻く人びとを支えるために必要な学びを多角的に捉える力を養う。
- ・1、2年次には大学共通科目である教養科目・外国語科目ならびに学科の専門科目のうち基礎科目や保育・教育の内容に関する科目等を配置し、大学での学修や専門的な学びの基盤形成を図る。
- ・3年次以降では、各種実習を配置し、大学で学ぶ理論や技術と保育・教育現場での経験を関連付けながら専門領域に関する学びを深め、多面的な視点で子どもや子どもを取り巻く環境を捉え、保育・教育を構想する力を育成する。

### 2. (教養・外国語教育)

- ・ディプロマ・ポリシー各項目の基盤形成に資するために、1、2年次に幅広い教養科目を偏りな

		DP4 総合的な学習経験と創造的思考力					
		DP1 知識・理解		DP2 汎用的技能		DP3 態度・志向性	
年次	科目	保育内容・ 教科の指導法	保育・教育 の内容	保育・教育 の理論	子どもの理解	子どもと 家族の支援	実習 専門研究法
4年次	応用科目		音楽表現演習 造形表現法	保幼小連携特論 現代社会と教育	子どもの理解と発達援助 特別支援教育実践論	子育て支援 (講義) 生徒指導・進路指導	教育実習(幼稚園・小学校) 教育実習(特別支援) 保育実習Ⅱ 卒業研究 保育・教職実践演習
3年次	展開科目	国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 音楽科教育法 英語科教育法	国語 算数 理科 社会 生活 音楽表現法 乳児保育Ⅱ 社会的養護内容 子どもの遊びと学び	教育課程総論 教育制度論 学級経営論 特別支援教育と福祉 教育相談の理論と方法	児童期以降の発達と心理 特別な教育的ニーズ に対する理解と支援 病弱児教育 視覚・聴覚障害児 教育総論 子どもの食と栄養	子育て支援 (演習) 子ども家庭支援 の心理学	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(福祉施設) 専門演習 臨床発達検査法
2年次	基礎・展開科目	図画工作教育法 体育科教育法 家庭科教育法 保育内容の指導法 (人間関係) 保育内容の指導法 (言葉)	図画工作 初等体育 英語 音楽 家庭 保育内容(健康) 保育内容(環境) 保育内容(表現) 子ども文化論 乳児保育Ⅰ	教育方法論 地域社会と学校 道德教育の理論と実践 社会的養護	教育心理学 幼児理解と援助 肢体不自由児の 心理・生理・病理 知的障害児教育 家庭支援論 子どもの保健	児童館・放課後児童 クラブの活動内容 と指導法Ⅰ	児童館実習 研究調査法
1年次	基礎科目	保育内容総論		教育原理 保育原理 教師・保育者論 子ども家庭福祉論	発達心理学 特別支援教育総論		スタートアップセミナー
		子ども教育専修				共通	
大学共通科目		【教養科目】人間と宗教 ジェンダー・キャリア形成 国際理解 社会と文化 歴史・思想 自然・科学 健康 リテラシー 【外国語科目】英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語					

## 取得できる免許・資格



**幼** 幼稚園教諭1種免許状

**小** 小学校教諭1種免許状

**特** 特別支援学校教諭1種免許状

**児** 児童厚生1級指導員資格

**保** 保育士資格

その他: 社会福祉主事、司書、司書教諭



幼 小 特

幼 小 保

幼 特 保

幼 保 児

小 特

幼 小

幼 保

3つ以内は可能

モデル4：卒業＋幼稚園教諭一種免許取得＋小学校教諭一種免許取得＋特別支援学校教諭一種免許取得

		1年	2年	3年	4年
大学共通科目	教養科目	キリスト教概論 必修2単位 女性とキャリアⅠ 必修1単位 区分 人間と宗教 選択必修2単位 人間形成 国際理解 社会と文化 選択必修2単位 歴史・思想 自然・科学 選択必修2単位 健康 リテラシー 選択必修2単位			
	外国語科目	教養科目・外国語科目から選択必修13単位以上 合計30単位以上			
		Academic CommunicationⅠ 必修1単位 Academic CommunicationⅡ 必修1単位 選択必修：4単位以上			
学科専門科目		幼稚園教諭一種免許を取得するために定められた、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等を履修 小学校教諭一種免許を取得するために定められた、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等を履修 特別支援学校教諭一種免許を取得するために定められた指定科目を履修			

[幼稚園・小学校教諭免許指定科目]

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語（書写含む）</li> <li>・社会</li> <li>・算数</li> <li>・理科</li> <li>・生活</li> <li>・子どもの遊びと学び</li> <li>・音楽</li> <li>・音楽表現法</li> <li>・音楽表現演習</li> <li>・図画工作</li> <li>・造形表現法</li> <li>・家庭</li> <li>・初等体育</li> <li>・英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科教育法</li> <li>・社会科教育法</li> <li>・算数科教育法</li> <li>・理科教育法</li> <li>・英語科教育法</li> <li>・生活科教育法</li> <li>・音楽科教育法</li> <li>・図画工作科教育法</li> <li>・家庭科教育法</li> <li>・体育科教育法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容（健康）</li> <li>・保育内容（人間関係）</li> <li>・保育内容（環境）</li> <li>・保育内容（言葉）</li> <li>・保育内容（表現）</li> <li>・保育内容総論</li> <li>・保育内容の指導法（健康）</li> <li>・保育内容の指導法（人間関係）</li> <li>・保育内容の指導法（環境）</li> <li>・保育内容の指導法（言葉）</li> <li>・保育内容の指導法（表現）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育原理</li> <li>・教師・保育者論</li> <li>・教育制度論</li> <li>・学級経営論</li> <li>・教育心理学</li> <li>・学校教育心理学</li> <li>・児童期以降の発達と心理</li> <li>・特別な教育的ニーズに対する理解と支援</li> <li>・教育課程総論（全体的な計画を含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の理論と実践</li> <li>・特別活動・総合的な学習の時間の指導法</li> <li>・教育方法論</li> <li>・生徒指導・進路指導</li> <li>・幼児理解と援助</li> <li>・臨床発達検査法</li> <li>・教育相談の理論と方法</li> <li>・教育実習（幼稚園・小学校）</li> <li>・教育実習指導（幼稚園・小学校）</li> <li>・保育・教職実践演習（幼稚園・小学校）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小連携特論</li> <li>・地域社会と学校</li> <li>・現代社会と教育</li> </ul>

## 大学での「計画」とは？

(藤女子大学「履修ガイド」から抜粋)

- 「履修ガイド」は、大学でどのように学ぶか、そして4年間の計画をどのように立てるとよいかの目安になるように〔履習要項〕、学科毎の〔履修の手引き〕、〔教育課程表〕と授業毎の〔シラバス〕とからなっている。
- 「履修の手引き」によって卒業までにどのような科目を選択すればよいかを考え、計画的に学ぶように心がける。
- 履修登録では、入学年度の教育課程表および「履修ガイド」を参考に卒業までの履修計画をたて、その年度に履修するすべての授業科目について、履修登録をしなければならない。

## 大学での「計画」から言えること

- 大学では、より自主性、自律性が求められる
- 大学での学びは自由度が高い、選択の幅が広い
- 大学では、大まかな道筋は示されるが、何をどのように学ぶかは、自分で計画する
- 生涯学習においても、あくまでも主体は学習者
- ただし、共同学習者やコーディネーターがいた方が...
  - 学びが広がる
  - 学びが深まる
  - 学びが続く